

タイトル	久保宏先生の退職を記念して
著者	谷, 吉雄
引用	北海学園大学学園論集, 131: i-ii
発行日	2007-03-25

久保宏先生の退職を記念して

工学部長 谷 吉 雄

久保宏先生は、平成3年4月に本学大学院工学研究科建設工学専攻修士課程を新設する計画に基づいて、前年の11月に工学部の専任教授として採用され、学部のコンクリート工学、寒地施工学、品質管理等の科目を担当された。さらに、大学院修士課程においては寒地舗装工学特論、特別研究などの科目も担当した。その後、平成7年4月から新しく認められた大学院工学研究科建設工学専攻博士課程の担当教授にもなっている。

平成3年度に専任教員として教育を始めてから、平成18年度までに多数の学部4年生の卒業研究指導並びに大学院修士課程の修士論文指導者となっている。なお、平成14年4月から17年3月までの3年間大学院工学研究科長を併任し、その重責を果たした。その間、平成10年度～14年度文部科学省補助科学研究「学術フロンティア推進事業」に参画するとともに、平成14年度には当該プロジェクトの研究代表者を務め最終取り纏めにも加わっている。

一方、本学工学部に勤務してからの研究面においては著書、学会誌等に掲載された研究論文、国際研究集会論文集に掲載された研究論文、工学部「研究報告」、北海学園大学「開発論集」及び大学院「工学研究」などに多数の論文を発表している。

また、平成7年度に「使用済み廃棄タイヤの凍上対策としての建設材料への活用に関する研究」のテーマで北海道新聞社から第16回北海道新聞学術文化研究奨励が授与され、さらに8年度には「廃棄塩化ビニルシートの農道路盤材へのリサイクル活用に関する研究」の課題で住友財団から環境研究助成も授与され、この種の研究を進めている。

本学の専任教員になってからの関係学会における活動では、平成2年度～8年5月までの日本雪工学会理事、平成7年5月～9年5月まで土木学会北海道支部商議員、平成11年4月～12年4月までの地盤工学会北海道支部長を務め、平成18年4月には地盤工学会北海道支部50周年記念特別表彰も授与された。

一方、社会における活動においても国土交通省が所管する名古屋空港舗装構造検討委員会、新千歳空港舗装検討会、積雪寒冷地空港高質化検討委員会など国の7機関での各委員長を務めた。また中標津空港技術検討委員会など道・県の5委員会の各委員長、旭川空港及び帯広空港技術助言検討委員会など市の3委員会の委員長も務めて、社会における貢献も行っている。さらに平成4年9月には冬期でのスパイクタイヤ使用禁止後の道路管理のために、欧州積雪寒冷地における

道路路面管理現地研修会の副団長を務めた。

研究所勤務での兼任講師として16年間の学部教育，専任教員として16年間の学部・大学院教育での合計32年間にわたって大学教育に精進している。また，主として産業廃棄物の建設材料への活用に関する研究に代表される貴重な研究成果と土木学会・地盤工学会等への貢献，北海道内ばかりでなく全国での空港舗装構造の検討委員会への貢献も行っている。

以上のように久保宏先生は，長年にわたって教育・研究・学会等に対する社会貢献を行って工学部をはじめ本学全体の発展に大きく貢献していることに対して，心から敬意を表する。